

令和7年度

第1回 大阪市立北中道幼稚園 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立北中道幼稚園

日 時	令和7年4月23日(水) 15:00～16:00		
場 所	大阪市立北中道幼稚園 リズム室		
出席者	委員など	8名	
	校 園	園長、主任教諭	
	区役所	2名	
議 題	(1) 学校協議会運営要項・学校協議会傍聴要領について (2) 運営に関する計画(案)について		
協 議 要 旨	協議の結果		意見等の概要
	(1)	○特になし	○特になし
	(2)	○運営に関する計画(案)については、取組内容等、理解していただき、承認された。	○異年齢交流『わくわくたいむ』の取組は、園の話を伺い、改めて大切だと感じた。今後も是非、続けてほしい。 ○今年度の取組計画プレゼンテーションの中で、5歳児の子どもたちが、一生懸命3歳児のお世話をしている姿を見て、涙が出た。 ○高齢者施設でも職員に『寄り添うとは、同じ景色を見る』と言うことを伝えている。4歳児なりに、泣いている3歳児に寄り添う姿を拝見し、言葉掛けだけでなく、5歳児の姿を見て学んで行動に出るのだなと感動した。異年齢交流『わくわくたいむ』は素敵だと感じた。 ○今、子どもが5歳児で、3歳児の子どもたちのお世話をして帰宅すると『つかれたあ』と話しているが、表情は笑顔で『自分は必要とされている』こと実感しているのだなと感じる。 ○今、上の子が小学生になった。当時、北中道幼稚園5歳児の時に、3歳児の子どもたちのお世話をしていたようで、ある保護者の方から「あか組さんの時に、いっぱいお世話してもらったことが嬉しかったようで、今でも〇〇〇ちゃんの話をしています。今年、自分が5歳児になって、あか組さんのお世話しているようで話を聞くと、しんどいけど、かわいいねんと言ってます。〇〇〇ちゃんのおかげです。」とお声がけいただき嬉しかった。 ○異年齢交流の取組を聞いて、温かい気持ちが循環していることや家庭では経験できないことを学んでいることを感じた。自己肯定感や自己有用感につながる話を伺い、園の思いが伝わってきた。
協 議 資 料	・大阪市立北中道幼稚園 学校協議会運営要項、学校協議会傍聴要領 ・令和7年度「運営に関する計画」(案) ・令和7年度「運営に関する計画」(添付資料)(案)		
備 考	傍聴者0名		
	欠席者2名		